

I 5-3 消防用設備等のうち着工届出書のないものの処理について

昭和45年9月9日 45消予第75号
 昭和55年7月16日 55消導第58号
 平成5年12月27日 5消導第165号
 平成12年10月12日 12消導第188号

非常警報設備、漏電火災警報器、誘導灯については、消防法施行令第36条の2の規定による消防設備士でなければ行ってはならない工事から除外されているため、特に既存防火対象物にこれらの消防用設備等を工事する場合、消防機関の聞知しないうちに設置を完了し、使用開始時において不適事項等問題を生ずることが予想される。

また、非常警報設備のうち放送設備については技術上の基準も複雑となっていることから、事前に設備計画をチェックし、適正な消防用設備等の設置を指導する必要がある。

ついては、この種の消防用設備等の取扱いを下記によることとしたので指導の適正を期せられたい。

記

1 非常警報設備

消防用設備等着工届出書（消防法施行規則、別記様式第1号の7）に非常警報設備（放送設備、非常ベル）概要表（別添1）添付

2 漏電火災警報器

漏電火災警報器着工届出書（別添2）

3 誘導灯

誘導灯着工届出書（別添3）

4 その他

(1) 届出書の受理は消防署長とする。

(2) 平面図及び配線図等は必要に応じ添付させること。

(3) 届出する時点は工事しようとする日の10日前までにすること。

(4) 本通達施行の際、従前の通達に基づいて調整されている用紙で残量のあるものについては、当分の間要件を満たすよう修正して使用することができる。

(5) 上記1～3の消防用設備等以外で、消防設備士でなければ行ってはならない工事から除外されている消防用設備等の工事の計画については、消防用設備等着工届出書（消防法施行規則、別記様式第1号の7）等を準用し提出するよう指導することとし、その手続き等は上記(1)～(4)に準ずるものとする。

別添 1

非常警報設備 (放送設備
非常ベル) 概要表

使用状況	専用設備		共用設備			
増巾器	型名	方式	電源	消費電力	出力	
		トランジスター 真空管	AC V DC V	W	定格 W (最大 W)	
操作部	制御区分	区分	制御階数	～ ・ ～		
操作装置	設置場所	階	用途 (室名)	火災覚知の方法	受信機・非常電話 その他	
起動装置	押ボタン・非常電話					
階別	ス ピ ー カ ー				ベ ル	
	W	W	計			
階	個	個	個	個	個	
計						
リモートマイク		個	カットリレー			
ベル	鐘径	個数	施設方法	音量	電圧	
	mm	個	埋込 露出	dB	AC V DC V	
非常電源	専用受電設備		電源系統図添付			
	蓄電池設備 (据置・内蔵)	種類	容量	電圧	充電方式	充電電流
		ニッケルカドミ ウム・鉛 密閉型・開放型	時間率 Ah	V	トリクル 浮動 その他	mA
配線	電源回路	施工方法		使用電線	太さ	
		金属管工事	埋込露出		mm	
		ダクト工事	〃	〃	mm	
	ケーブル工事	〃	〃	mm		
	警報回路	施工方法		使用電線	太さ	
		金属管工事	埋込露出		mm	
ダクト工事		〃	〃	mm		
ケーブル工事	〃	〃	mm			
関連装置	自動火災報知設備・非常電話 その他 ()			警報音	電 子 音 鐘 径 定 格 ベル AC・DC V mm mA	
工事者区分	電 源 ・ 配 線		機 器 取 付			
備考						

(注) 様式に記入されている事項で該当するものは○でかこむこと。

別添2

漏電火災警報器着工届出書

年 月 日					
消防署長様					
届出者 住所 氏名					
設置の場所					
防火対象物の名称				業態	
工事 施 工 者	住所	電話 ()			
	氏名 <small>〔法人の場合は名称 及び代表者氏名〕</small>				
漏電 火災 警報 器	本体	製造者名・型式			定格電圧 V
	変流器	1. 屋外 2. 屋内	1. 貫通形 2. 分割形		定格電流 A
	音響装置	1. ブザー 2. ベル	設置場所	1. 守衛室 2. 管理人室 3.	
着工予定日	年 月 日		完成予定日	年 月 日	
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

2 ※印の欄は、記入しないこと。

別添3

誘導灯着工届出書

年 月 日				
消防署長様				
届 出 者				
住 所				
氏 名				
防火対象物	所在地			
	名称		用途	
	構造	造	階	延面積 m ²
工事施工者	住 所			
	氏 名 (法人の場合は名称 及び代表者名)			
区 分		A 級	B 級	C 級
避難口誘導灯	普通形	個	個 (BH形 個)	個
	点滅形等	個	個	個
通路誘導灯	普通形	個	個 (BH形 個)	個
	階段等	個 (非常用照明装置 個)		
客席誘導灯		個		
信号装置等		有 ・ 無		
非常電源		蓄電池設備 ・ 自家発電設備		
誘導灯の消灯		有 (裏面事項を明記のこと) ・ 無		
工事の種別	1 新設 2 増設 3 改修 4 移設 5 その他			
着工予定日	年 月 日	完成予定日	年 月 日	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
 2 ※印の欄は、記入しないこと。
 3 正・副2通提出すること。

(表)

誘導灯の消灯に係る防火管理等について

● 自動点灯の場合

点 灯 方 式	
---------	--

● 手動点灯の場合

消 灯 す る 部 分	
消灯する誘導灯の種別	
消 灯 す る 時 間 帯	
点 滅 器 等 の 場 所	
消 灯 操 作 責 任 者	
誘 導 灯 の 消 灯 に 伴 う 防 火 管 理 等	

(裏)